



まつ もと じゅん

中区・磯子区・金沢区

松本純

まちかど
政治瓦版



平成30年5月1日号
発行
かながわ
1区支部
発行責任者
平木 茂

5月号
2018年
No.185

松本純ホームページ 毎日更新中! <http://www.jun.or.jp>

▶検索キーワード「松本純」

自民党内第2勢力 「志公会と語る夕べ」開催

4,500人が参加、安倍政権継続への強い意志を確認

4月12日、志公会となって初めての政策集団のパーティである『志公会と語る夕べ』が開催されました。

昨年、麻生会長の下で自民党史上初となる3つの政策集団の合流が成し遂げられ、総勢60人という党内第二勢力になることができました。会場は、都内最大級の収容人数を誇るホテルニューオータニ「鶴の間」、4,500人を優に超える皆様に参加いただきました。一時は会場に入れない方も出てしまい、心よりお詫び申し上げます。

パーティは、安倍晋三総理・総裁の挨拶で始まり、総理自身のライフワークである拉致問題など、米国と連携しながら解決するという信念が語られました。また、総理として、そして政治家として公約を守るために最大限の努力をするとされました。

続いて高村特別顧問他志公会メンバーが紹介され、そして麻生太郎会長が挨拶に立ちました。挨拶では安倍政権の成果として「我々が政権をとって、伸びないと言われたGDPを1割上げ、約50兆に。下がったのは金利、失業率、倒産率。そして今、外国の賓客が毎日のように訪れている。我々はあの失われた20年に戻るつもりも、また日本にはそんな余裕もない」と政権継続への強い決意が述べられました。そして二階俊博幹事長からもお祝いの言葉をいただき、政策集団の代表として宏池会の岸田文雄会長も挨拶されました。

懇親会は、山東昭子志公会会长代行の乾杯で始まりました。恒例となった特設ステージでの麻生会長との記念撮影会が開催され、順番待ちの長蛇の列も。また、会場各所で議員と志公会支持者の皆様との歓談が繰り広げられ、棚橋泰文事務総長の中締めの挨拶で盛況のうちにパーティは終了しました。

2006年（平成18年）の「為公会」立ち上げから12年、松本純は立ち上げ時からのメンバーとして、そして、事務局長として、麻生会長と政策集団「志公会」を支えてまいりました。これも、ひとえに私をご支援くださる皆様のお陰です。このご恩に応えるためにも私の政治信条である『汗する人が報われる社会』を構築するため、政治の安定に努めてゆきたいと思います。

志公会メンバー

【衆議院議員】麻生太郎、甘利明、森英介、山口俊一、鈴木俊一、岩屋毅、河野太郎、佐藤勉、田中和徳、棚橋泰文、原田義昭、江渡聰徳、松本純、松本剛明、井上信治、伊藤信太郎、北川知克、あべ俊子、永岡桂子、丹羽秀樹、御法川信英、山際大志郎、あかも二郎、鈴木馨祐、菌浦健太郎、武藤容治、安藤裕、井上貴博、井林辰憲、今枝宗一郎、大見正、工藤彰三、斎藤洋明、高橋ひなこ、中村裕之、中山展宏、長坂康正、牧島かれん、宮川典子、務台俊介、山田賢司、大隈和英、船橋利実、高村正大

【参議院議員】山東昭子、鴻池祥肇、武見敬三、有村治子、塚田一郎、猪口邦子、大家敏志、中西健治、中西祐介、藤川政人、高野光二郎、高橋克法、滝沢求、豊田俊郎、渡辺美知太郎、今井絵理子

(順不同・敬称略)



いま地域で
(人・まち・出来事)

「銭湯」を地域の憩いの場に

横浜市浴場協同組合副理事長・同金沢
支部支部長 銭湯「亀遊館」店主 森田 守さん(金沢区)

金沢区六浦の老舗銭湯「亀遊館」は昭和17年の創業、店主の森田守さんは三代目にあたります。屋号の由来は、横浜の開港時から国際的社交場として歴史に残る遊郭「岩亀楼」の遊女・亀遊から。銭湯は一日の汗を洗い流すと共に、世間話や地域情報交換の場としても栄えてきた「社交場」。昭和36年に横浜市浴場協同組合が、昭和40年には同金沢支部が設立され、昭和42年の最盛期には金沢区内で22軒の銭湯が賑いを見せっていました。しかし今では2軒が残るのみ。その生き残りを賭け、新時代に即した経営が問われるようになりました。



店主の森田さん(4月17日にリニューアルオープンした風呂場にて)

「まだまだ銭湯利用者はいるんです」と森田さん。「高齢者や親子連れ、観光で立ち寄る方、銭湯ランナー（トレッキングやランニング後の銭湯利用）等々」。そんな新たなニーズに応えるため、亀遊館では30年ぶりに内装リニューアルに挑戦しました。井戸水を利用した水風呂、ジャグジー、電気風呂などバラエティに富んだお風呂を完備、「元気に健康寿命を伸ばせる場として利用していただきたい」と森田さんは笑顔で語ります。目下、落語の出前寄席も企画中のこと。地域の憩いの場として、今「銭湯」が甦ろうとしています。

[2018年4月]

松
本
議
員
の
活
動
記
録

- 1日●通夜：故佐野規矩氏
- 2日●議院運営委員会与党理事懇談会
- 3日●国会対策正副委員長打合会
●役員連絡会
- 4日●横浜市・小林一美副市長、荒木田百合副市長、鯉渕信也教育長挨拶
- 5日●中外製薬(株)永山治代表取締役会長挨拶
●予算委員会与党理事懇談会



4/1 金沢土建バーベキュー大会
●好天の金沢土建バーベキュー大会は横溝逸雄支部長をはじめ家族連れの組合員60名で賑わいました。塚本三千雄前支部長からはアスベリスト被害問題について伺いました。



4/8 丸山第一町内会花見●今年は満開が早く町内会館広場の桜は新緑に。それでも好天に恵まれ町内の皆さんのが大集合、踊りや歌の披露やビンゴゲーム等で、楽しさいっぱいの花見の会となりました。

- 6日●与野党国対委員長会談
- 9日●野党国対よりQT申し入れ
●法案取り扱いの打合せ
- 10日●国会見学ぞくぞくと!米国国務省日本語研修所ご一行
- 11日●党政務調査会説明(ユニバーサル法案について)
- 12日●志公会と語るタべ
- 13日●役所説明(内閣官房・森重俊哉IR推進室長:IR法案について)
- 16日●バイオシミラー協議会面談



4/14 ヨコハマ大道芸inイセザキ
●イセザキ・モール1・2丁目ではジャグリングやコメディマイム、中国雜技、アクロバット、お笑いなどの様々な大道芸が観客を魅了、笑顔と拍手喝采の一日でした。



4/14 足柄上三師会研修会
●衆議院初当選以来ご支援をいただいている足柄上三師会研修会が松田町で開催され、松本純代議士は「平成30年度診療報酬改定」について講演しました。

永田町日記

米国国務省日本語研修所との親交

国際都市横浜には米国国務省日本語研修所があります。米国の国務省は日本でいえば外務省、初めて日本に赴任してきた外交官が研修を受けるのが中区にある日本語研修所なのです。そして、研修を終えて日本国内の大使館や領事館に赴任する前、恒例行事となっているのが国会での意見交換会と国会見学です。

研修所が選挙区にあることもあり、これを松本純がお手伝いさせていただいているわけです。今年もギャリーG・大庭所長をはじめとし、今年日本に赴任された外交官の方々と親交を深めさせていただきました。このような地道な交流が日本と米国の人脈という大切な絆をささえているのです。

